

授業科目(ナンバリング)	栄養教育論 I (1B250) (実務的教育科目)			担当教員	川野 香織 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>栄養教育に関わる基礎学問領域の概要を理解し、栄養教育に応用できるようにする。そのうえで、対象者（個人または集団）の栄養評価と栄養診断の結果を踏まえ、栄養介入のための栄養教育プログラムを計画立案し実施、その後、実施結果を評価（判定）し、評価（判定）に基づき栄養教育プログラムを再立案するという、一連の栄養教育の方法を学び、実践的に展開できる能力を修得する。</p>							①②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	管理栄養士・栄養士を専門職とする者としての専門性を身につけ、使命感、職業観を持つことができる。					・定期試験 ・小テスト	50% 10%
情報収集、分析力	栄養教育を行うための基本事項（知識・技術）を修得し、栄養教育の必要性を説明できる。					・定期試験 ・課題レポート	10% 10%
コミュニケーション力	食行動変容のための知識や技術を介して、対象者の自己決定や行動変容の支援方法を説明できる。					・定期試験	10%
協働・課題解決力	栄養教育の内容が時代背景に応じて変化することを理解し、現代の健康問題について栄養教育の観点から適切な解決策を提案できる思考力を持つことができる。					・定期試験	10%
多様性理解力							
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講態度（10%）は、予習・復習を行ったうえで授業に臨んでいるかを、毎回授業開始時の小テストで評価し、授業内でフィードバックする。課題レポート（10%）は、第6回目に課し、行動科学理論を実際の栄養教育に結びつけて理解できているかどうかを評価し、授業内でフィードバックをする。定期試験（80%）は、栄養教育の目的、理論的基礎として行動科学理論やカウンセリングの手法、栄養マネジメントを理解できているかどうかを評価する。</li> <li>・課題レポートはポートフォリオ、授業の理解度はレスポンスを活用し、それぞれ授業内でフィードバックする。</li> </ul>							
授業の概要							
<p>食を取り巻く様々な問題点から、食生活改善の意義や必要性を理解し、栄養教育の意義と目的を認識する。これより、健康の維持・増進、生活習慣病に代表される疾病の発症予防などの栄養教育を行うための理論と技術を学修する。また、人々の栄養状態の維持や改善には行動変容を図ることが大切であり、行動変容を起こさせるために必要な考え方となる行動科学理論および栄養カウンセリング、栄養教育マネジメントの目的・意義・過程（アセスメント・計画・評価など）を学修する。また、教員の病院や保健所での栄養教育実践や栄養アセスメントの実務経験から具体的な事例紹介をする等、より実践的な理解へ導く。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分である。なお、栄養教育論 I で得られた知見は、栄養教育論 II に連動するものである。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『改訂マスター栄養教育論』建帛社、『管理栄養士・栄養士必携』第一出版  参考書：資料を適宜配布する。  指定図書：『改訂マスター栄養教育論』建帛社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>本科目では、栄養教育を行う上での知識・技術・手法及び態度についての基礎を学修する。本講義を通じて、各自が自分の生活環境の中から関連する事項を抽出しながら栄養教育が身近なものであることを理解し、管理栄養士・栄養士としての使命感、倫理観、職業観などが培われることを期待する。  授業中の私語、携帯電話、メールなどは厳禁である。また、無許可での途中退出は不可とする。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	栄養教育の概念①	栄養教育の定義 栄養指導、栄養教育の歴史	教科書第1章該当箇所 の予習し、特に、栄養教育の 定義・歴史を復習する。
2	栄養教育の概念②	栄養教育の目標 栄養教育の対象と機会 栄養教育の実践と評価 栄養教育の場	教科書第1章該当箇所 の予習し、栄養教育対象や機 会・場を理解し、復習する。
3	行動科学理論と栄養教育①	食行動変容と行動科学理論 行動科学の理論とモデル (1) 刺激-反応理論 (2) 社会的学習理論、社会的認知理論	教科書第2章該当箇所 の予習し、行動科学理論のポ イントを復習し整理する。
4	行動科学理論と栄養教育②	行動科学の理論とモデル (3) ヘルスビリーフモデル (4) 汎理論的モデル(トランスセオレティカルモ デル)	教科書第2章該当箇所 の予習し、行動科学理論のポ イントを復習し整理する。
5	行動科学理論と栄養教育③	行動科学の理論とモデル (5) 合理的行動理論、計画的行動理論 (6) ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポート	教科書第2章該当箇所 の予習し、行動科学理論のポ イントを復習し整理する。
6	行動科学理論と栄養教育④	社会・環境へアプローチする理論・モデルづくりと 組織づくり、地域づくりへの展開 行動変容技法の概念と事例 行動科学理論を活用した栄養教育(課題レポート)	教科書第2章該当箇所 の予習し、行動変容技法に関 して事例を基に理解する。
7	栄養教育マネジメント	栄養教育マネジメントの概念 栄養教育マネジメントのフローチャート 栄養教育マネジメントのプロセス	教科書第3章を予習し、栄 養教育マネジメントの重 要性を整理し復習する。
8	栄養教育のためのアセスメント	栄養教育のためのアセスメントとは 栄養アセスメントの方法 栄養アセスメントの情報収集 課題抽出の優先順位の設定	教科書第4章を予習し、ア セスメントの必要性及び その方法を理解し、復習す る。
9	栄養教育計画	課題の整理と選択 栄養教育の目標設定の意義と方法 栄養教育の目標の種類 栄養教育カリキュラムの立案	教科書第5章を予習し、栄 養教育の目標設定の意義 を理解し、目標の種類を整 理する。
10	栄養教育の具体的方法①	栄養教育方法の選択 学習形態	教科書第6章該当箇所を 予習し、セルフモニタリン グの内容を整理し復習す る。
11	栄養教育の具体的方法②	教材と媒体 学習段階の発展	教科書第6章該当箇所 の予習をし、教材や媒体を整 理し理解する。
12	栄養教育の実施	連携 栄養教育実施者の技術 実施	教科書第7章該当箇所 の予習をし、栄養教育実施に 必要な要素を復習する。
13	カウンセリングの基本と栄養教育への応用①	栄養教育におけるカウンセリングの意義と特性 カウンセリングの基本姿勢	教科書第8章該当箇所を 予習し、カウンセリングの 意義を理解し、復習する。
14	カウンセリングの基本と栄養教育への応用②	栄養カウンセリングの基本技法からの展開 グループカウンセリングの意義と特性、技法	教科書第8章該当箇所を 予習し、カウンセリングの 基本技法を理解する。
15	カウンセリングの基本と栄養教育への応用③	カウンセリングの事例(患者への指導) カウンセリングの事例(患者の妻への指導)	教科書第8章該当箇所を 予習し、具体的な事例を通 して理解を深める。
16	定期試験		